

研究課題名	残胃癌における最適な治療指針についての後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	当院で残胃癌の治療を受けられた方を対象に、長期生存に関わる因子を同定する、最適なリンパ節郭清範囲を決定する、TNM分類の妥当性を検証します。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2029 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	1993 年 1 月～2024 年 3 月までに大阪市立大学(現:大阪公立大学)医学部附属病院にて残胃癌に対して治療を受けられた方。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報等：以下の項目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 患者基本情報：年齢、性別、BMI、PS、ASA、併存疾患、既往歴、喫煙・飲酒歴、体重減少、呼吸機能、筋肉量、栄養指標、術前治療 ② 腫瘍基本情報：局在、肉眼型、腫瘍径、病期診断 ③ 血液検査：血液像、生化学検査、凝固系、腫瘍マーカー ④ 手術所見：術式、合併切除臓器、手術時間、出血量、輸血有無 ⑤ 病理検査：組織型、壁深達度、リンパ節転移、脈管侵襲、静脈侵襲、多発癌、癌遺残度 ⑥ 術後所見：術後合併症、在院日数、術後補助化学療法 <p>転帰：再発有無、再発部位、再発年月日、生死、死因、最終生存確認日</p>
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科消化器外科学のみで行います。</p> <p>【研究責任者】豊川貴弘</p>
本研究の 利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪公立大学医学部附属病院 消化器外科</p> <p>担当者氏名：豊川 貴弘</p> <p>電話番号：(06) 6645-33835</p> <p>メールアドレス：t-toyokawa0120@omu.ac.jp</p>